



山本宣治 (1889.5.28~)

「戦旗」1929年4月号 山宣



治安維持法弾圧犠牲者数

A	警察署での拷問による虐殺者	93	氏名『虐殺』パンフ
B	服役中・未決拘留中の獄死者	128	氏名『獄死者』パンフ
C	服役中、未決拘留中の暴行・虐待、劣悪な環境などによる発病で出獄・釈放後死亡した者	208	同
D	弾圧で再起できず自死	25	同
E	宗教弾圧での虐殺・獄死者など	60	同
F	検挙者数	68,274	1928年~45年5月まで
G	起訴者数	6,550	// (起訴率10%)
H	起訴猶予	7,316	//
	検束・勾留者数 (未送検者数)	数10万	

★A-E：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟調査・2015年4月現在



【三月十五日】「記念事業」労働者農民の病院を作れ!

労働者農民 無産市民 学生諸君!
荒れ狂ふ×××配の下に於て、労働者農民無産市民大衆は未曾有の劣悪なる生活を強ひられてゐる。失業貧困無智無力のどん底に陥られた無産大衆は更に襲ひ来る疫病に對して、どうすることも出来ぬ苦痛を経験しなければならぬではないか。塵埃に埋れた工場、過勞から来る肺病、頭々として起る負傷不規則な生活が強ひられるための神経衰弱、不適當な栄養關係のための脚氣等々近代資本主義、社會制度が我々に課した疾病は數へ上つるに過ぎない。これ等の病氣に對して我々の健康は只の一時でも保護されてゐるか?
斯くて否!
ブルジョアと地主の支配する社會では「仁術」であるべき醫術さへも完全に獨占され労働者農民無産市民の前にはすべての病院は閉ざされてゐる。
我々は病氣になつても金がなないため、醫師の診察を受けることを幾度か躊躇し空しく病人を危篤に陥らしめればならない。致命的な怪我をしても「保険金」が積めないために入院を拒絶される。薬代が滞つてゐるからといって、死に顔してゐても往診を断られる「健康保険」で控はれてゐる上に、醫者からは被保険者であるために粗悪な薬しか飲めない。
かくの如く我々の健康は誰からも保護されてゐない。我々の

病氣を治すためには我々自身の病院を持たなければならぬ。労働者農民の健康は労働者農民自身の組織が保護されなければならぬ。かゝる意味に於て我が救済會は即時我々の診察室と療養所を持たねばならぬ。救済會支持の若手の獻身的な醫師兼判事醫師等は健康を奪はれたる労働者農民のために、進んでその専門技術を提供する事になつた。そのためには家庭設備補給品の購入費として先づ第一に基金五千圓を募集する。
凡ての工場から農村から職場から學校から、一錢二錢の零細な基金を集めて送れ、大衆的支持によつて我等の病院を建設しよう。
労働者農民の病氣を労働者農民の病院で治せ!
建設基金五千圓を工場農村から送れ!
労働者農民の病院設立萬歳!
一九二七年三月十五日

解放運動犠牲者救済會 病院設立基金募集委員會

- 器械購入費 二〇〇〇〇
- 布團購入費 二〇〇〇〇
- 往診用白馬車三臺五〇〇
- 藥品購入費 六〇〇〇〇
- 家具購入費 一〇〇〇〇
- 家賃費 一〇五〇〇
- 病室用ベット五臺一五、〇〇〇
- その他 六五〇、〇〇〇